

# 皮膚科 Dermatology

## 1. スタッフ構成

○岡崎 秀規(主任部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:皮膚疾患全般、皮膚アレルギー

資格:日本皮膚科学会皮膚科専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○松立 吉弘(部長)

2005年高知大学医学部卒

専門分野:皮膚疾患全般

資格:日本皮膚科学会皮膚科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○黒尾 優太(医長)

2010年広島大学医学部卒

専門分野:皮膚疾患全般

資格:日本外科学会外科専門医

○岩田 麻里(専攻医)

2019年愛媛大学医学部卒

専門分野:皮膚疾患全般

○定本 靖司(診療委託)

## 2. 実績

### ■ 疾患別入院患者数

疾患群	患者数
ウイルス性疾患	3
細菌性疾患	9
膠原病および類縁疾患	5
手術入院、悪性腫瘍	5
蕁麻疹、中毒疹	12
熱傷	8
湿疹皮膚炎群	1
難治性潰瘍	10
水疱症	10
脱毛症	5
アレルギー検査	1
合計	69

### ■ 全死亡例およびその死因

病名	死因
水疱性類天疱瘡	多臓器不全

### ■ 検査・治療件数

検査・治療名	症例数
真菌テスト(鏡検・培養)	345
皮膚生検	150
凍結療法	329

光線療法(紫外・赤外線・PUVA等)	1,047
皮膚免疫組織学的検査	43
蛍光抗体直接法	39
熱傷(中等症以上)の入院治療	11
皮膚悪性腫瘍に対する化学療法	4

### ■ 手術件数

手術名	症例数
良性腫瘍・母斑等の切除・縫合術	72
皮膚悪性腫瘍の切除	23

### ■ 皮膚腫瘍統計

疾患名	2018	2019	2020	2021	2022
有棘細胞癌	3	7	4	8	5
基底細胞癌	11	8	7	8	9
ボーエン病	2	6	4	5	4
悪性黒色腫	1	4	2	1	3
乳房外パジェット病	2	1	1	2	0
血管肉腫	0	1	0	1	3
付属器癌	0	3	1	0	1

## 3. 2023 年度目標

他の医療機関では対応困難な重症の皮膚疾患に対応できるよう診療機能を備え、医療の質のレベル向上を図ることを目標としています。

外来では十分な診療を行えるよう、引き続き2診体制での診察を継続します。乾癬やアトピー性皮膚炎等の炎症性皮膚疾患に対しては生物学的製剤や新規分子標的薬等を用いた診療をより進めていきます。

地域の先生方との連携をさらに密に取り、紹介率および逆紹介率を高め、病診連携を深めてまいります。

## 4. 学術関係

### (1) 学会発表および講演

- 土居千晃、松立吉弘、岡崎秀規、定本靖司。喉頭浮腫を生じた水疱性類天疱瘡の1例。第74回日本皮膚科学会愛媛地方会。松山(2022.3.12)
- 松立吉弘、土居千晃、岡崎秀規、定本靖司。イベルメクチンによる多形紅斑の1例。第156回日本皮膚科学会徳島地方会。徳島(2022.5.29)
- 土居千晃、松立吉弘、岡崎秀規、定本靖司。多発性皮膚平滑筋腫の1例。第75回日本皮膚科学会愛媛地方会。松山(2022.10.8-9)
- 藤井一恭(鹿児島大学)、多田浩一(鹿児島大学)、松岡温子(鹿児島大学)、松立吉弘、金蔵拓郎(鹿児島大学)。基底細胞母斑症候群の1例。第75回日本皮膚科学会愛媛地方会。松山(2022.10.8-9)
- 松立吉弘、土居千晃、岡崎秀規、定本靖司、齊藤亨(山形大学)、岡村賢(山形大学)、鈴木民夫(山形大学)。眼皮膚白皮症4型の一卵性双生児例。第157回日本皮膚科学会徳島地方会。徳島(2022.11.26)

### (2) 論文・著書

- 松立吉弘、桑折信重、岡崎秀規、定本靖司。放射線治療歴を有する毛細血管奇形上に生じた基底細胞癌の1例。皮膚科の臨床 64(4)、511-515(2022.4)

2. Matsudate Y. Case of allergic contact dermatitis due to nickel contained in stainless steel skull pins. *The Journal of Dermatology* 49(9). e307-e308 (2022.5)
3. 松立吉弘、桑折信重、岡崎秀規、定本靖司. 消化器症状が先行し、軽微な皮膚症状を契機に診断した小児の IgA 血管炎の 2 例. *皮膚科の臨床* 64(6). 1060-1064 (2022.5)
4. 桑折信重、松立吉弘、岡崎秀規、定本靖司. 水酸化カリウムによる広範囲化学熱傷の 1 例. *臨床皮膚科* 76(6). 403-408 (2022.5)
5. 住谷龍平(徳島大学)、原田武志(徳島大学)、中村昌史(徳島大学)、水口槇子(徳島大学)、大浦雅博(徳島大学)、曾我部公子(徳島大学)、丸橋朋子(徳島大学)、高橋真美子(徳島大学)、藤井志朗(徳島大学)、中村信元(徳島大学)、三木浩和(徳島大学)、賀川久美子(徳島大学)、矢田未央(徳島大学)、松立吉弘、上原久典(徳島大学)、安倍正博(徳島大学). 少量 methotrexate 療法が有効であった進行期原発性皮膚未分化大細胞型リンパ腫. *臨床血液* 63(6). 536-543 (2022.6)
6. 松立吉弘. ラムシルマブ投与中に生じた舌の毛細血管拡張性肉芽腫. *西日本皮膚科* 84(5). 393-394 (2022.10)
7. 土居千晃、岡崎秀規、松立吉弘、定本靖司. エトレチナート内服を行った thymoma-associated multiorgan autoimmunity の 1 例. *臨床皮膚科* 76(13). 1065-1069 (2022.12)